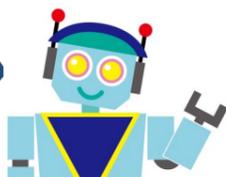


科学館ニュース



DENZAI環境科学館

検索

(☎0143-22-1058)

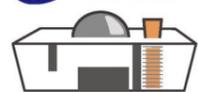


2月16日(日)
① 10:10~12:10
② 13:15~15:15

▲2023年の同フェスタから

会場

DENZAI 環境科学館 (えみらん1F 多目的室)



入場無料 ※入場券が必要です ※2F展示室を見学される場合は、入館料がかかります

中間貯蔵・環境安全事業(株) 北海道 PCB 処理事業所

PCB を知ろう!



太平電気株式会社

クレーンゲームロボットの展示 & 操作体験



日本製鉄株式会社 北日本製鉄所

探検! あなたのまわりの鉄の世界



室蘭まちづくり放送株式会社 FMびゅー

パーソナリティ体験 & 公開生放送



NPO法人楽知ん研究所

大道仮説実験「しゅぼしゅぼ」 & 水分子シャワー



NPO法人かもけん

手回し発電で遊ぼう! & エコバッグづくり



スタンプでカンちゃんのオリジナル



1月12日、赤く輝く火星が地球に最接近しました。これから少しずつ離れていきますが、6月までは、1等星ほどの明るさで輝くので、観察しやすい時期が続きます。

火星食

2月10日には火星が月齢11.3の月に大接近し、日本の一部では火星が月に隠される『火星食』が起きます。

室蘭では、西の空の超低空で午前5時17分ごろ火星が月に隠される『潜入』が見られますが、その後火星は月から出てくる前に地平線に沈んでしまいます。



▲火星は地球のすぐ外側を公転しています。

地球のすぐ外側を回る火星は、太陽の回りを1周するのに687日かかります。一方地球は365日で回っているので、およそ2年2カ月ごとに火星を追い越します。このとき地球と火星は接近します。

明るさを変える赤い輝きや、順行や逆行など、夜空での複雑な動きから、大昔は洋の東西を問わず、火星は不吉な星と考えられていたようです。

火星とレグルスが大接近

2月上~中旬の火星は、ふたご座付近を西へ移動しています(逆行)。その後2月25日以降、火星は春の星座がある東へ移動を始めます(順行)。

5月上旬にはかに座の散開星団M44(プレセペ星団)に接近します。

6月中旬、火星はしし座を移動し、6月17日にしし座の1等星・レグルスに大接近します。2つの星の間隔は0.8度角(満月の直径の約1.5倍)の近さです。その頃の火星の明るさはレグルスと同じ1.4等。赤く輝く火星と白く輝くレグルスが隣り合う印象的な光景は肉眼でも見えますが、双眼鏡などを使うと観察しやすいと思います。



2月のスポットサイエンス

開催日	プログラム
1日(土)	ショー・おもしろ静電気実験
2日(日)	工作 変わり絵
8日(土)	ショー 液体窒素で遊ぼう
9日(日)	工作 ひな祭り飾り
11日(火・祝)	工作 スライム作り
22日(土)	ロボットサッカー
23日(日)	試験管に雪を降らせよう
24日(月・祝)	ショー 橋の科学1

▼2月のちょこっと工作

『カンちゃんドーナツ』

- ・平日: 13:30~15:30
- ・土日祝春休み: 10:00~11:30、13:30~15:30

※開催時間などくわしくは、当館ホームページをご覧ください。